

—あなたの隣の「帰国者」のことを知っていますか？—

中国・樺太残留邦人の体験を伝える 「戦後世代の語り部」講話会



語り部講話の様子

「帰国者」…日本へ永住帰国した残留邦人のことをいいます

※参加費無料!要事前申し込み

2026年3月21日(土)

14:00-16:00 (開場13:30~)

〈会場〉 首都圏中国帰国者支援・交流センター
カーニープレイス新御徒町 6階
(東京都台東区東上野 1-2-13)

〈お申し込み〉TEL: 03-5807-3171 (9:30-17:45 月祝休館)
FAX: 03-5807-3174(お名前・連絡先を明記してください)

★オプション企画 歴史背景映像放映

ご興味のある方は少し早めにご来場の上、ご視聴ください!

- 13:15~ 中国残留邦人の背景を知る
「二つの国の間で」(20分)
- 13:35~ 樺太残留邦人の背景を知る
「遠い対岸~樺太残留邦人はなぜ生まれたのか~」(14分)

webでのお申込みはこちらから
<https://forms.gle/SGDTuwYutRLHTSrt9>



《当日の講話内容》

【「中国残留孤児」高田俐の人生】

語り部 泉田 俊英

敗戦時の混乱の中、9歳の少年は生きるために一人、中国人家庭に預けられる。その後激動の中国を生き抜き、約40年ぶりに帰国するが日本での生活は? 「日本には太陽がない」「来世は鳩になりたい」と語る意味は?娘として父の姿を見続けた語り部が語る。

【3つの名前で生きる あきこ・ソジャ・ソーニャ】

語り部 大輪 香菊

戦前、樺太(現サハリン)へ渡った日本人家庭に生まれた女の子。1945年夏、母娘だけで敗戦を迎えた。戦後ソ連領となり、次々と変化するサハリン社会を母娘はどのように生き抜き、女の子はどのように成長していったか?なぜ、長い間帰国できなかったのか?女の子の目を通した体験を語る。

戦後世代の語り部とは…

首都圏中国帰国者支援・交流センター(厚生労働省委託)が、中国・樺太残留邦人の体験を次世代に語り継ぐために育成した戦後世代の伝承者です

アクセス

- 都営大江戸線・つくばエクスプレス新御徒町駅より徒歩1分
- JR御徒町駅北口より徒歩7分
- 日比谷線仲御徒町駅、銀座線稲荷町駅より徒歩6分



地図QR↓



主催: 首都圏中国帰国者支援・交流センター

◆問い合わせ◆ 電話: 03-5807-3171(9:30-17:45 月祝休館) メール: kataribe@sien-center.or.jp

HP→

